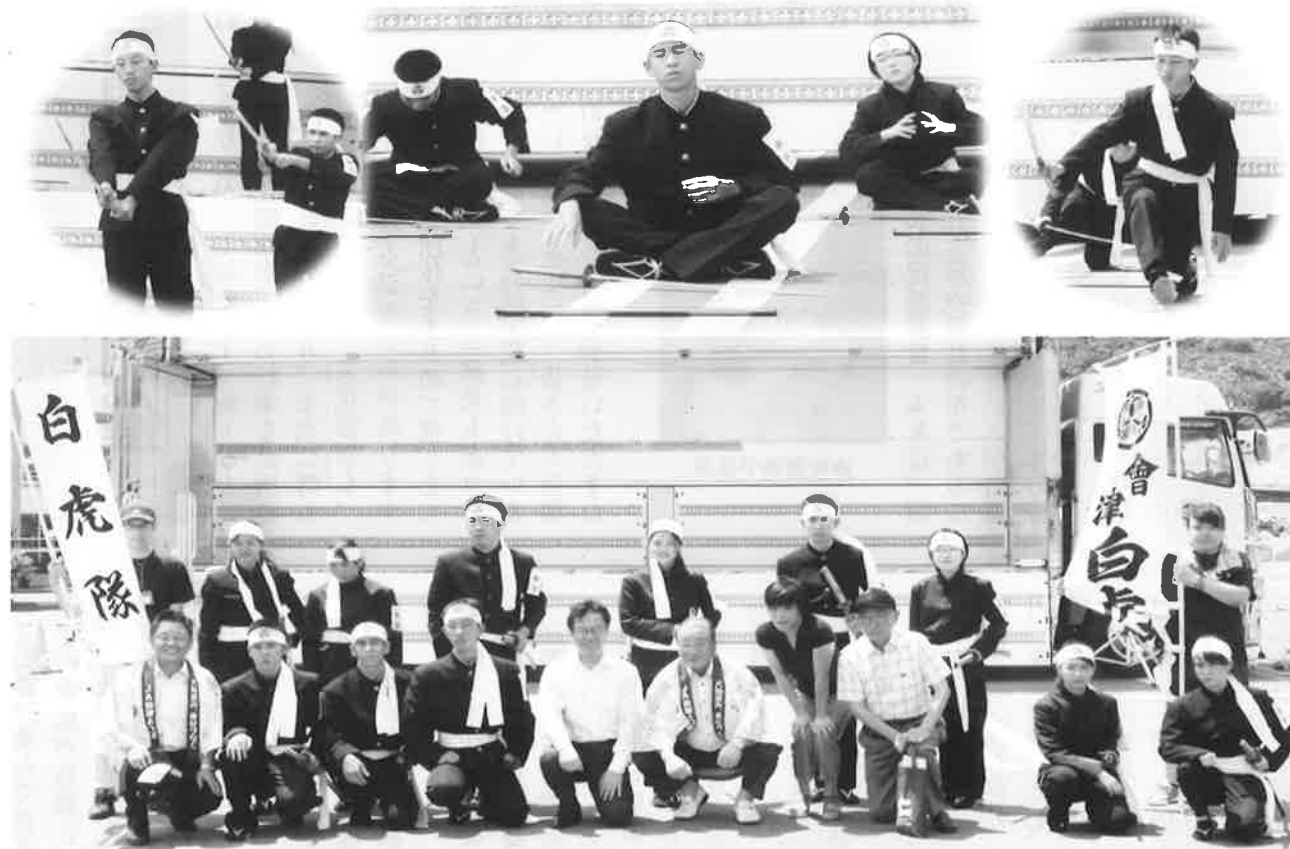


萩の友

第21号
平成30年（2018）9月発行

萩市文化協会
会長／有富 美子
編集
会報編集委員会
委員長／大場 洋

題字／萩市文化協会 齊藤 武男



▲会津若松市から来萩された小・中・高校生団体「AIZU塾」の皆さん
（H30.8.12 萩市椿「JAファーマーズマーケット」前で行われた白虎隊演舞披露）

雑感

会長 有富 美子

今年は明治維新百五十年を祝い色々な行事が開催されている。その維新も立場が変われば戊辰戦争百五十年である。

二〇〇六年山口で開催された国民文化祭の折、勤務していた萩高校に歴史的にゆかりのある福島県立会津高校合唱部を招聘して、合同演奏会を開催する計画が採択された。戊申戦争以来の確執が続いていると言われる会津と長州、萩で会津高校合唱部の皆さんの若々しい歌声が響き渡った時は感無量であった。その時、会津高校が作詞、萩高校が作曲を担当し、混声四部合唱曲「友情―時を越えて今―」が誕生した。次世代を担う若人達とともに考え、ともに歌い、確執を超えて文化交流が出来たことは意義深い。また、二〇一一年の東日本大震災の翌年、原発事故で揺れる福島で開催された全国高等学校総合文化祭に、今度は萩高校合唱部が福島に行き、会津高校と合同で五年前の創作曲を再演した。

文化活動を通して歴史的わだかまりが少しでも緩み、お互いを理解しあえる関係や存在でありたい。

明治維新百五十年を迎える二〇一八年が、そういう年であってほしいと願う。

平成30年度 加盟団体主要行事一覧表（平成30年10月～平成31年3月）

月	日	時間	行事名	場所	団体名
10	6	10:00～12:00 13:00～15:00	邦楽ワークショップ	萩・明倫学舎 多目的復元教室	萩芸能家協会、尺八を楽しむ会、藤間流小伊絃会、萩三音会 他
	7	10:00～16:00	山口県総合芸術文化祭2018 第50回山口県邦楽大会	萩市民館大ホール	コーラスTomorrow
	14	13:30～16:30	「萩・阿武女声コーラスの集い」定期演奏会	萩市民館大ホール	萩阿武長門合同短歌会
	27	9:30～15:30	第34回萩市芸術祭 萩阿武長門合同短歌大会	萩総合福祉センター	萩三音会
	28	13:00～15:00	第4回くによの会	江向 渡辺蔵蔵旧宅	萩三音会
11	3	12:30～16:30	第27回 萩市民音楽祭	萩市民館大ホール	萩音楽協会
	3	11:00～12:00	福栄ふるさとまつり（太鼓演奏）	道の駅ハビネスふくえ	大板山たたら太鼓同好会
	3	11:00～12:00	恵比須まつり（神楽舞奉納）	越ヶ浜4ヶ区恵比須神社	越ヶ浜郷土芸能保存会
	4	9:30～15:00	萩市合同吟剣詩舞道大会	萩市民館大ホール	萩市吟剣詩舞連盟
	17	17:00～22:00	山田天神様秋季例祭神楽舞奉納	山田2区天神様	山田神楽舞保存会
	18	14:00～16:00	明治維新150年記念事業 萩・第九演奏会	萩市民館大ホール	萩第九を歌う会
	18	10:00～15:00	表千家萩千萩会 創立60周年記念茶会	千春楽「味楽亭」	表千家萩千萩会
12	2	10:00～16:30	北浦選抜「歌謡コンクール」グランドチャンピオン大会	ルネッサながと	NPO法人北浦音楽芸能文化協会
	4～25	10:00～16:00 最終日13:00	ステンドグラス クリスマス作品展	喫茶 なないろ	ステンドグラス ゆとりろ
1	27	9:00～16:00	萩川柳会新年句会	萩市民館講義室	萩川柳会
2	中旬	13:00～13:30	萩椿まつりオープニング	越ヶ浜椿群生林	越ヶ浜郷土芸能保存会
3	10	9:00～16:00	観世流 謡曲仕舞会	旭マルチメディアセンター	明木緑声会
	16～17	10:00～17:00 17日16:00	池坊山口県連合支部 いけばな池坊展	萩市民体育館	華道家元池坊萩橘支部
	17	14:00～16:00	Fiore Hagi 創立25周年記念コンサート	萩市民館大ホール	Fiore Hagi

※各団体から報告のあったもののみを掲載。

◆紹介 監事に就任

なかつらあきかず
萩市教育長 中村彰利

《プロフィール》

昭和32年生（60歳）山陽小野田市出身。
大津緑洋高等学校校長を退任後、平成30年4月から萩市教育長に就任。



〈中村彰利教育長〉

祝 全国大会出場！

萩市立明倫小学校5年の武安亮河君が、7月8日、広島市で開催された全国吟詠コンクール中国地区代表選出大会「幼年の部」で見事優勝し、9月17日、東京都の笹川記念館で開催される全国吟詠コンクール決勝大会への出場を決めました。



〈武安亮河君〉

《表紙写真》「JAあぶらんど萩」は、2011年3月11日に発生した東日本大震災の直後、支援物資を福島県会津若松市に届けて以来、交流を続けており、今年8月、会津若松市の「JA会津よつば」の皆さんが萩に来られ、物産販売を行いました。表紙写真は、同日行われた、会津若松市の小・中・高校生の団体「AIZU塾」による、白虎隊演舞の披露です。

平成三十年度

萩市文化協会通常総会開催

六月三日、萩市民館小ホールで約三十名の役員・会員の出席を得て、平成三十年度総会を開催しました。さらに、議事に続いてアトラクション、一坂太郎先生の記念講演が行われました。

総会には有富美子会長の挨拶、来賓の市長代理 高橋博史副市長の祝辞を受けた後、有富会長を議長に指名して議事に入りました。役員改選や決算、活動方針、予算など四つの議案を審議し、承認されました。

■有富会長の挨拶要旨…文化協会も今年で十三年目を迎えました。十三年前に、齊藤前会長が、萩市にも是非文化協会をつくりたいということで、ご尽力されたことを思い出します。その齊藤前会長が今年の二月にお亡くなりになられ、四月に松陰神社立志殿において、「齊藤武男さんを偲ぶ会」を行いました。立志殿が満員になるほどのご出席があり、故齊藤前会長のご尽力とご功績をひしひしと感じたところです。改めてご冥福をお祈りしたいと思います。

さて、文化協会も、今年は明治維新百五十周年ということで、非常に

盛り上がりつつあります。色々とところで文化団体が記念の行事を計画されていると聞いており、本当に嬉しく思っております。文化協会も、色々な異なるジャンルがあります。各文化団体をまとめて催しをしてはどうかというご意見もあります。可能であれば実現に向けていきたいと思っておりますので、皆さんの忌憚のないご意見をお聞かせいただきたいと思います。



▲有富美子会長

■藤道市長の祝辞要旨…本年は、明治維新百五十周年の節目の年であることから、様々な記念イベントが開催されております。文化関係団体の皆様には、それぞれの分野において、参画にご尽力をいただくなど、萩市の文化・観光振興に多大な貢献をされておりますことに、厚く御礼を申し上げます。本市では少子高齢化の進展により、文化活動の継承や存続

にも影響が及んでおり、次代を担う若手の育成が急務になっております。文化関係団体の支援とともに人材育成に力を注いでいかなければならないと思っております。

●役員改選

有富会長以下、二十一名の役員が承認されました。新任として、理事に池坊萩支部長の岡清子さん、監事に萩市教育長の中村彰利氏が就任されました。

●平成二十九年度事業報告・決算報告

◎主な共催・後援事業

- ▽京都大学交響楽団萩公演 (八月／市民館)
- ▽萩市美術展 特別展「佐伯信夫展」 (九月／市民館)
- ▽宝くじまちの音楽会「南こうせつ with ウー・ファン 心のうたコンサート」 (三十年二月／市民館)
- ▽三井住友海上文化財団 AUN & HIDE 萩特別公演 (三月／市民館)
- ◎収支決算
- 【決算額】収入合計三四五、一一六円、支出合計二九七、二八九円、次年度繰越金四七、八二七円
- 収入は、会員会費三〇万四千円、対前年比一万二千円の減(会員…賛助三人・個人三千九人・四十六団体)。支出は、総会に係る会場代等が一六万八千円で、支出の五割を占めました。

●平成三十年度事業計画・予算

事業は、各文化団体の定例行事に加えて、明治維新百五十周年記念事業が主なものです。

◎主な共催・後援事業

- ▽吹奏楽による組曲「吉田松陰」 (四月／市民館)
- ▽ウィーン少年合唱団萩公演 (五月／市民館)
- ▽萩市美術展 特別展「萩市所蔵の作品展」 (九月／市民館)
- ▽山口県総合芸術文化祭二〇一八 第五十回山口県邦楽大会 (十月／市民館)
- ▽萩・第九演奏会 (十一月／市民館)
- ▽第三十五回華道家元池坊山口県連合支部花展 (三十一年三月／市民体育館)



総会風景

◎収支予算

【予算額】収入・支出とも二五五、八三〇円

本年度は総会を市民館小ホールで行ったことにより、総会に係る会場代等が対前年比一九三、〇〇〇円の減額になりました。

●その他

・来年三月発行の会報は、明治維新百五十周年記念の特集号として発行する予定。

▼総会アトラクション

議事終了後、萩市地域おこし協力隊の中野翔太さんとALTのコラボによるアコースティックギターによる「Let's Be!」「上を向いて歩こう」等の演奏が行われ総会に花を添えました。



▲中野翔太 with ALTによる演奏

記念講演

「松陰先生と西郷どん」

講師 萩市特別学芸員

一坂 太郎 先生



▲一坂太郎先生

一坂先生は、冒頭、幕末の大きな特徴として「横議横行」という考えがあったことを紹介し、藩を超えて、横のつながりを作りはじめたことが、一つの時代を変革するエネルギーになったと話されました。終わりに、吉田松陰や高杉晋作も現代的な平等意識というものではなく、當時は武士道、儒教という道徳観があり、現代とは別の価値観をみんなが持っていた。我々だって百五十年後の価値観を今持っている人はいない。後の時代の価値観で歴史を判断してはいけません。また、良くも悪くも歴史を変えてはいけません。松陰にしても西郷にしても色々な作られたイメージがあるが、一個一個検証して、改めて考えてみるのも明治維新百五十年の意義ではないかと、話を締めくくられました。

山口県

芸術文化振興奨励賞

受賞おめでとう

ございます

二〇一八年六月十五日、明木「御台場窯」の萩焼作家、渋谷英一さん(三十九歳)と見島出身で神奈川県在住の舞台俳優、瀧山久志さん(三十四歳)が、平成三十年度の山口県芸術文化振興奨励賞を受賞されました。同賞は昭和二十五年に創設され、芸術文化の分野において高い水準の創作活動を続け、かつ、将来性のある個人や団体を表彰しています。受賞されたお二人と今後への抱負をご紹介します。

渋谷 英一 美術／陶芸



〈渋谷英一氏〉

萩市西田町出身。萩焼職人の祖父のもとで修業。伝統的な萩焼に崇敬の思いと憧憬を感じつつ、現代性を持つ創造的な表現を模索している。平成二十八年には全国公募展「現在の形の陶芸 萩大賞展Ⅳ」でトップの「萩大賞」、昨年は「第五回陶美展」で最高賞の「日本陶芸美術協会

賞」に輝いた。

「ものづくり」は上手くないことばかりですが、今までそういう自分とどう向き合うかを大切に参りました。この度受賞させていただいた事を契機に、今の自分としっかり向き合い努力を惜しまず、一層の精進を重ねて参りたいと思います。」

瀧山 久志 演劇／ミュージカル



〈瀧山久志氏〉

萩市見島出身。萩高時代は合唱部に所属し、有富美子先生の指導を受ける。大学卒業後、上京。劇団四季のヒット作「オペラ座の怪人」など出演多数。劇団四季に入団後は、「アラジン」ジーニー役を射止め、多彩な楽曲をこなせる歌唱力とエンターテイメント性の高い演技で人気を博している。昨年は、演劇界の将来を担う人材に贈られる「若谷時子賞・奨励賞」を受賞。

「この度の受賞、また評価をいただく機会を下さった全ての皆様に感謝しつつ、山口県出身者としての誇りをより一層深め、常に新しい目標に挑み続ける舞台俳優となれるよう益々引き締め精進して参ります。」